



横浜市歴史博物館 企画展

# 楽しい浮世絵ヒストリー

— 丹波コレクションの世界 —

会期：平成 28 年 6 月 18 日（土）～ 7 月 10 日（日）



歌川広重（初代）「東都名所 高輪廿六夜待遊興之図」天保 8 年（1837）頃

## 【展示趣旨】

「丹波コレクション」（神奈川県立歴史博物館所蔵）は、横浜で貿易商を営んだ丹波恒夫氏が 70 余年をかけて収集したコレクションです。横浜浮世絵や広重の作品がよく知られていますが、他にも、初期浮世絵から明治期の浮世絵にいたるまで、さまざまな年代・作者・様式の作品が幅広く揃っています。

本展ではこの「丹波コレクション」を所蔵する神奈川県立歴史博物館と連携し、浮世絵の歴史に沿って同コレクションの作品を紹介いたします。17 世紀後半の浮世絵黎明期から明治時代にいたるまで、約 6000 点に及ぶ作品から 64 点を厳選し、浮世絵の歴史を辿ります。名品、有名絵師の作品はもちろん、あまり知られていない作品なども取り上げ、浮世絵と「丹波コレクション」の魅力に迫ります。

## 【展示構成】

- 序 丹波コレクションとは
1. 浮世絵黎明期—墨摺から色摺版画へ
  2. 華やかな多色摺へ—錦絵の世界
  3. 北斎、国貞、広重、国芳
  4. 開港場・横浜の賑わいを描く
  5. 明治の浮世絵

【主な展示資料・見どころ】（総展示数 64点）

- ◆ 17世紀後半から明治時代までの浮世絵の歴史をコレクションをとおして紹介します。
- ◆ 北斎、国貞、広重、国芳など有名絵師の作品が一堂にご覧いただけます。これまで展覧会等で紹介される機会の少なかった作品も展示します。



菊川英山「新吉原道中図 あふきや内花まと」

文化（1804～17）後期頃

扇屋の高級遊女「花窓」が仲の町の桜の下を行く、花魁道中の図。扇屋は新吉原江戸町一丁目にあった大籬（最も格式の高い遊女屋）。

ほぼ藍色だけで表現する「藍摺」という技法で摺られている。用いられた絵の具は文政期末に日本に伝わったプルシアンブルー（「ペロ藍」）。藍色の濃淡で表現された画面に一点だけ施された紅の色が印象的。仕掛（打掛）の図柄は、在原業平の和歌を模したものか。



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」

天保2～5年（1831～34）

富士山のさまざまな山容をえがいた揃いもので、北斎の風景版画の代表作。好評を博し、何度も増刷されている。夏から秋にかけての早朝、快い南風（凱風）の中、朝焼けに山全体が染まる「赤富士」が堂々とそびえ立つ様を描く。屈指の傑作といわれている。



歌川広重（三代）「横浜野毛伊勢山従海岸鉄道蒸気車図」明治7年（1874）

伊勢神宮の皇祖を勧請した伊勢山皇大神宮、その参道の賑わいと眼下を走る蒸気車を描く。明治4年の社殿竣工以降、この地は開港場を一望できる名所となった。日本人と外国人、和装と洋服などが同じ画面に描かれ、和と洋の入り混じる明治初期の様相をうかがい知ることができる。



## 【関連企画】

### 浮世絵講座「浮世絵を楽しくみる」

講師：桑山童奈氏（神奈川県立歴史博物館 主任学芸員）

日時：7月10日（日）14:00～15:30 会場：当館研修室

参加費：300円 定員：50名（事前申込・6月29日17:00受付終了・申込多数の場合は抽選）

### ミニ講座「“横浜歴博”所蔵浮世絵からみる東海道と名所」

講師：小林紀子（当館学芸員）

日時：7月3日（日）14:00～15:00 会場：当館研修室

参加費：200円 定員：30人（事前申込・6月22日17:00受付終了・申込多数の場合は抽選）

### フロアレクチャー

日時：6月26日（日）、7月2日（土）、7月9日（土） 11:00～、14:00～（45分程度）

会場：企画展示室 参加費：無料（企画展チケットが必要です）

### 浮世絵スタンプ「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の絵をハガキサイズの台紙にスタンプ5コで完成させます。

日時：会期中の土日 10:00～16:00

会場：博物館2階廊下 参加費：無料

### 図録

「楽しい浮世絵ヒストリー 丹波コレクションの世界」 850円

B5 フルカラー 48頁

### 【展示会期など】

会 期 平成28年6月18日（土）～ 7月10日（日）

開館時間 午前9時～午後5時（券売は4時30分まで）

観 覧 料 一般 300円、高校生・大学生200円、小学生・中学生100円（常設展は別）

休 館 日 月曜日

主 催 横浜市歴史博物館

共 催 横浜市教育委員会

協 力 神奈川県立歴史博物館

後 援 朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞社横浜支局/東京新聞横浜支局/  
日本経済新聞社横浜支局/毎日新聞横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局/  
NHK横浜放送局/TVK/FMヨコハマ

お問い合わせ先：横浜市歴史博物館 副館長 井上攻 TEL045-912-7777

\*画像データをご要望の場合は 久保（広報）へご連絡ください。